

# 令和4年度

## ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業

子どもたちの豊かな心を育むため平成14年度より実施している本事業は21年目を迎えました。

今年度は「これまでとこれから繋ぐ 十七字」のキャッチフレーズの下、「絆部門」「ふるさと部門」の2部門で作品を募集しました。県中域内では絆部門では6,584組、ふるさと部門では2,264組、合わせて8,848組の方々から御応募いただきました。御協力をいただきました市町村及び市町村教育委員会、幼・保、こども園、小・中・義務教育学校、県立各学校、公民館、そして審査に御協力いただきました福島県公立学校退職校長会の皆様に改めて感謝申し上げます。

さて、9月29日に行われた県中域内第一次審査では、福島県公立学校退職校長会県中域内各支部より19名の皆様に審査員としておいでいただきました。厳正な審査の結果、絆部門より336組、ふるさと部門より116組の優良作品を選定し、県の第二次審査へ送ることができました。第二次審査を経て、県中域内からは23組の優秀な作品が最終審査へと選出されました。11月8日の最終審査の結果、県中域内から最優秀賞に3組（絆部門）、優秀賞に2組（ふるさと部門）、佳作に4組（絆部門）の計9組が入賞を果たしました。また、「県中奨励賞」として最終審査に進むも惜しくも入賞を果たせなかった14組（絆10組、ふるさと4組）を、「学校賞」として全校をあげて取り組み、優れた作品を数多く生み出した学校の22校、1園を表彰しました。

寄せられた作品には、家族や身近な人たちとの何気ない日常の会話、やりとりに目を向けたことで生まれた感謝の気持ちや改めて感じた相手への思い、ふるさと「ふくしま」の復興への願い、震災の記憶の継承に向けた思いなどが五・七・五の十七文字に込められていました。

県中教育事務所では、入賞作品や第一次審査通過作品を多くの方々に御覧いただきたく、作品集を発刊し、教育委員会及び各学校、公民館等へ配付いたしました。この作品集を通して、子どもたちの瑞々しい感性や子どもたちを見守る身近な人々の思いや願い、家庭や地域の絆を感じ取ってもらえることを願っております。

令和4年12月

福島県教育庁県中教育事務所長 佐藤 敏宏

県の表彰式は令和4年12月10日（土）に福島テルサにて行われました。県中地区からは最優秀賞3組（絆部門）が表彰されました。県の表彰式の様子は、福島県教育委員会ホームページに紹介されますので、こちらからご覧ください。  
福島県教育庁社会教育課 (<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/edu/sykaikyoiuku470.html>)



# 県中域内表彰伝達式



R4.12.14 福島県立郡山支援学校（中学部）  
（佳作、学校賞）



R4.12.15 小野町立小野小学校  
（佳作、学校賞）



R4.12.15 須賀川市立大東中学校  
（佳作）



R4.12.19 郡山市立明健中学校  
（優秀賞、学校賞）



R4.12.20 郡山市立富田東小学校  
（優秀賞、佳作、学校賞）

